

## ヤギの放牧

目的：除草作業軽減、地域景観向上、農作物の高付加価値化など

場所：岡崎市石原町

期間：令和3年10月～

頭数：3頭(当初4頭)

放牧：約1,000㎡(柚子畑)

獣害防止柵設置済みの場所で放牧し、夜間は小屋に入れて管理した。

結果：想定よりも雑草をたくさん食べ、放牧範囲では除草作業を行う必要はなかった。草をよく食べたため、エサを購入したのも約半年の間に1回だけであった。法面の草についての除草効果を確認できた。

考察：除草効果が高いことを確認することができたが、場所により生えてくる草も違うため、ヤギの除草効果も異なることが予想されるため、今後、他の場所での除草効果を確認していくことも必要だと考える。

ヤギに対して、好意的な関心ある意見も聞かれたため、除草作業の低減や、ヤギ除草による作物育成という直接的なことだけでなく、ヤギのいる風景そのものを集客に利用できる可能性も感じられた。



柚子畑で放牧中のヤギ